

令和5年度第2回古賀市総合政策検証会議アクションプラン関係（資料6）事後質問

番号	資料6の ページ	質問	回答	担当課
1	3	<p>施策1-1-2子育ての経済的負担の軽減</p> <p>昨今市長が宣言している18歳まで医療費ゼロの明記はないのか？</p> <p>またその財源や財政負担にどう対処するかの見解は記載しないのか？</p>	<p>以下のように修正させていただきます。</p> <p>（修正前）</p> <p>現状と課題⑥</p> <p>所得の多寡にかかわらず、発育・発達段階に応じて適切な受診機会の確保により子育てを支援するため、所得制限を設けずに子どもの医療費の助成などの独自助成を行っており、今後の独自助成実施については、社会情勢や財政状況を踏まえたうえで検討していく必要があります。</p> <p>（修正案）</p> <p>所得の多寡にかかわらず、発育・発達段階に応じて適切な受診機会の確保により子育てを支援するため、所得制限を設けずに子どもの医療費の助成などの独自助成を行っており、<u>令和6年度から、子ども医療費の18歳までの無償化を実施します。安定的に実施していくためにも、今後も国による実施や県による補助の拡大がなされるよう引き続き働きかけていく必要があります。</u></p>	市民国保課
2	22	<p>施策1-4-4自分らしく暮らせる多文化共生の推進</p> <p>現状と課題⑥</p> <p>アフターコロナに伴い、今後急激な増加が予測されている。とあるが、急激な増加が予測されている背景には、工場の新設など別の要因があるのではないかと想像されるため、その要因を記載した方が良いのでは。</p>	<p>以下のように修正させていただきます。</p> <p>（修正前）</p> <p>アフターコロナに伴い、今後急激な増加が予測されております。特にこれまでも年々増加していた技能実習生をはじめとする就労が認められる在留資格者数の増加は顕著に見られます。</p> <p>（修正案）</p> <p><u>少子高齢化の影響もあり、労働人口の不足が大きな社会問題になっている中、今後、企業誘致や工場の新設などに伴い、特定技能をはじめとする就労が認められる在留資格者数の増加が予測されています。</u></p>	まちづくり推進課

3	26	<p>施策2-1-2 保健の充実と医療連携</p> <p>現状と課題⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中には「結核や麻しん、風しん等の感染症については、～略～集団感染が起こっている」とあるが、結核については高齢者の発症が多くなっている。このため、本文中から「結核」を削除するか、結核について別に説明したほうがよいのではないか。 ・麻しん、風しんの予防接種率は直近では接種率が下がっているのに、記載に留意する必要がある。 <p>R3→R4 全国 第一期 98.5%→93.5% 第二期 94.7%→93.8%</p>	<p>以下のように修正させていただきます。</p> <p>(変更理由)</p> <p>様々な感染症の中から、感染力が強く毎年の流行に加えて時に世界的大流行が起こることや、重くなりやすい疾患であることの理由で、特に課題としているインフルエンザ関係の記載に変更を行いました。</p> <p>(修正前)</p> <p>結核や麻しん、風しん等の感染症については、全国的に予防接種の接種率の向上とともに感染症の罹患者数は減少しているものの、海外からの渡航者や予防接種未接種者等を中心に集団感染が起こっています。</p> <p>(修正案)</p> <p><u>インフルエンザの感染症については、コロナ禍では流行が認められませんでした。令和5年度は夏期も含めインフルエンザの発生が続いています。</u></p>	健康介護課
4	48	<p>施策4-1-3快適な道路網の整備</p> <p>まちの状態・課題指標</p> <p>目指す方向性の↓の根拠がわからない。車の台数が減れば良いという単純なものではないのではないかな。</p> <p>適切な利用台数の目安/車線-日を明示した方がわかりやすい。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、指標の変更も含めた車両通行の利便性向上を把握できる方法を検討します。</p>	建設課

5	63	<p>施策4-4-2資源を有効に活用する循環型社会の形成 現状と課題②</p> <p>生ゴミの水切りの徹底だけでは、ゴミの効果的な減量化にはつながらないため、「コンポストツールの導入支援」などの文言を追加した方が良いのでは。</p> <p>例えば、福岡市内の会社（ローカルフードサイクリング株式会社 https://lfc-compost.jp/）が開発した「LFCコンポスト」というバック型のものに生ゴミを投入してかき混ぜるだけで肥料ができるツールがあり、神奈川県座間市では、このツールを活用して、2022年度より市内の600世帯で生ゴミを堆肥化して、自治体の資源物・廃棄物収集の仕組みにより回収し、地元農家での活用を目指すプロジェクトが始動している。 https://www.wooms.jp/2022/06/27/2022-6-27-2/ https://www.city.zama.kanagawa.jp/kurashi/gomi/genryo/1002170.html 古賀市内にも一定数の農家があり、類似の取り組みができるのではないかな。</p>	<p>古賀市では、市民向けダンボールコンポスト講座を実施しダンボールを使った生ゴミ減量を促す啓発を行っており、コンポストの活用もごみの効果的な減量化につながると考えますので、今後文面に「コンポストの活用」を追加いたします。なお、生ゴミを堆肥化して回収し、地元農家での活用を行う仕組みづくりに関するご意見については、今後の取組を検討する中で参考にさせていただきます。</p>	環境課
6	66	<p>施策4-4-5私たちにできる地球温暖化の防止 現状と課題②</p> <p>温暖化対策実行計画の見直しについて何をいつまでに見直すというスケジュールは記載できないのか。</p>	<p>令和4(2022)・令和5(2023)年度の2箇年で本市の地球温暖化対策実行計画を見直し、国に準じた目標値の設定などを検討しています。その状況を記載し修正いたします。</p>	環境課